

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式
① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の適正なごみ処理、資源循環と快適な暮らしのために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市では、循環型の社会を実現するために、2023年3月に小平市第四次一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの減量や適切な処理、3R の取組の推進など、目標を定めて取り組んでいます。市民も各家庭のごみや資源物を正しく出すように努めていますが、分別が難しい、通常の回収だけでは追い付かない場合もあるなどの課題も見えてきています。市民の声に寄り添い、ともに大量生産・大量消費社会からの脱却、循環型社会を実現するために質問します。

- 1, 小平市内のごみや資源物の回収、処理量の増減について直近三年間の傾向をお示しください。また、回収や処理方法、費用に変化があればお示しください。
- 2, 令和6年度小平市一般会計決算では、資源回収品売上が1億6, 256万円ほどありました。本年度の状況と売り上げがある品目、回収方法をお示しください。
- 3, 使用済み小型家電やリチウムイオン電池の分別、回収、リサイクルについては、市報に掲載するなどしていますが、まだ周知が足りないように思います。回収場所を増やすなど市民がリサイクルに参加しやすい環境を充実することや、さらなる周知が必要だと考えますが、ご見解をお示しください。
- 4, 使用済み小型家電、リチウムイオン電池はどのようにリサイクルされていますか。
- 5, 資源循環の取組を強化するために先進事例を施策に生かしていくことは有効です。先進事例を把握するためにどのようなことを行っていますか。
- 6, 高齢化が進む中、実家の片づけなどで一度に大量のごみや資源を排出したい場合があるができない困っているとの声を聞いています。どのような方法が考えられますか。また、個人で小平・村山・大和衛生組合などへ持ち込むことについてご見解を伺います。
- 7, 市の環境教育や3R の取組をさらにすすめるために、小平市リサイクルセンターの機能の充実と広報が必要と考えますが、ご見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2026年 2 月 12 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悅子

受付番号【 】

26	25	24	23